

高梁地紅茶まつり 栄町高校生イベント



11月1日(日)に栄町商店街で「第4回高梁地紅茶まつり」が開催されました。今年も、高梁地紅茶まつり実行委員会の生徒を中心に栄町商店街の皆様と協力して行うことができました。今年のテーマは「愛するこの町、地紅茶と共に」。高梁市宇治・松原地区で作られている高梁紅茶を地域の皆様に味わっていただく「地紅茶カフェ」のスタッフとして日新高校、高梁城南高校の生徒と一緒におもてなしをしたり、体験コーナーやパフォーマンスでイベントを盛り上げました。日頃からたか高を応援してくださっている地域の皆様に感謝の気持ちを伝え、栄町を盛り上げるこのできた1日となりました。



もうすぐ家政科展

平成28年1月22日(金)～23日(土)

実行委員長あいさつ

今年度のテーマは「ひまわり ～shine today for our brighter future～」です。ひまわりには“あなただけを見つめている”という花言葉があります。小さなひまわりの種であった私たちを愛し、そして育ててくださったのは、家族や先生、そして今まで出会ってきた全ての方々です。支えてくださった方々にこの家政科展を通じて、大きく美しく咲き誇った姿を見ていただきたいという思いでこのテーマにしました。先輩方がこれまで築いてこられた家政科展のよき伝統を引き継ぎながら、私たちらしい個性あふれる家政科展にしたいと思い、家政科全員で意見を出し合い、練習や準備を進めています。多くの方に、ぜひ私たち高梁高校家政科の集大成を見ていただきたいと思います。

家政科3年
小林沙英

お土産作り

家政科展に来てくださった皆様にお渡しするお土産作りは、1年生が担当しています。今年度はお人形のクリップを、心を込めて手作りしています。



全員製作

今年の全員製作は家政科全員で「つまみ細工」を作っています。1つ1つの花に心を込め、「テーマのひまわり」「緑に囲まれたたか高」「家政科展の情熱」を花の色で表現しています。家政科展当日の展示を楽しみにしててください。



先端学問特別講座 11/14

東京大学、京都大学、慶応義塾大学の先生方6人をお迎えし、先端学問特別講座を開催しました。数学や英語、物理など6講座を開催し、生徒は興味のある分野を自由に選択して受講しました。田中真介京都大学准教授は「霊長類の子供たちの遊びと暮らし」と題して霊長類と人間の違いなどを、チンパンジーの独特の泣き方を真似するなどして分かりやすく説明してくださいました。また、横山千晶慶応義塾大学教授は、韻やリズムによって「音」から英語を理解する学習方法を説明してくださいました。生徒はいつもとは違う雰囲気での自分の興味のある学問分野を深く知る機会となりました。



創立記念日式典 11/6

高梁高等学校が135年目を迎え、創立記念式典と芸術鑑賞会がありました。芸術鑑賞では東京芸術座「夏の庭」を鑑賞しました。

縦割りLHR 10/26

縦割りLHRとは、クラスを解体し学年や科を越えてグループを作り、身近な課題などについて意見交換をする取り組みです。今年の課題は「たか高を見つめ直そう」でした。今後の高梁高校の在り方について考えを深めることができました。



キャンドルナイト 10/16

市内の高校と大学が協力してキャンドルナイトを行いました。虫の音が聞こえる中、手作りろうそくの優しい灯を見ながら、ゆったりとした秋の夜長を少し贅沢な気分でも過ごすことができました。



家政科

家政科 ランチ会 「いち・に・さんふらわー」

家政科全学年合同でのランチ会「いち・に・さんふらわー」を行いました。この企画は、家政科の縦のつながりを大切にしたいという生徒の思いから発案されたもので、各自で調理した弁当を持ち寄りしました。



家庭クラブ研究発表大会で最優秀賞受賞

第62回岡山県高等学校家庭クラブ研究発表大会が高梁総合文化会館で開催されました。本校の家政科2年生 兼岡梨奈さんが最優秀賞を受賞しました。



松花堂 弁当 販売！

3年次生が「栄養」の授業の一環として、松花堂弁当を作製し、先生方に販売しました。旬の食材をいかし、秋を感じていただける内容と盛り付けにしました。手作りの箸袋やおしながきを添えた心のこもった松花堂弁当は先生方に大好評でした。



たか高生インタビュー

中学生の皆さんに、たか高をもっと知ってもらうために、たか高生にインタビューをしました。

普通科 2年2組 島田るか

Q: どうして、たか高への入学を決めましたか？

高校受験の当時、将来の夢が描けていませんでした。そこで、いつかやりたいことが見つかった時に、一番多くの可能性や選択肢を持てるよう、大学への進路実績がある高梁高校を選びました。



Q: たか高に入学して良かったことは。

頑張れる環境があり、頑張れる人になれたこと。どの先生方も教えることが大好きで、納得のいくまで時間をとって付き合ってくださいます。

Q: たか高に入って一番の思い出は。

松籟祭のクラス展示の企画を考え、みんなで取り組み、優秀賞をもらったことです。全てが思い通りにはいきませんでした。授業では学べないような経験ができました。

Q: 部活の様子を聞かせてください

英語部に所属しています。毎週外国人の先生と、それぞれのレベルに合わせて楽しく会話しています。

Q: 将来の夢は？

薬学の道に進み、新たな薬を開発して、今まで治せなかったような病気を治したいです。

Q: 中学生に向けてのメッセージ

中学の時とは比べ物にならないほどの努力が必要ですが、毎日が充実しています。自分の未来は自分で作るもの。急げたい気持ちに負けない心を持ち続けたいです。中学生の皆さんも、明日からではなく今日から、という気持ちで頑張ってください。

家政科 2年1組 久成百花

Q: どうして、たか高への入学を決めましたか？

保育、被服、食物、福祉の4分野の専門科目の中から自分で選択して学習することで、また普通科目についてもしっかりと学ぶことができると思ったからです。



Q: たか高に入学して良かったことは。

保育について実践的な学習ができる環境が整っていることです。手遊びやエプロンシアターを行ったり、実際に3kgある人形を赤ちゃんに見立てて一日保育をする実習などがあり、楽しく学んでいます。

Q: たか高に入って一番の思い出は。

クラス・学年の垣根を越え、学校全体で盛り上がる松籟祭です。私はブロックカラーの青をイメージした模擬店でアイスバケットを販売し、大盛況でした。

Q: 部活の様子を聞かせてください

私はテニス部で主に放課後と土曜日に活動しています。魅力的な顧問の先生のご指導のもと、仲間との練習を通して、諦めない心とチャレンジする心など精神面も鍛えることができます。

Q: 将来の夢は？

私の夢は、幼稚園教諭になることです。子供の笑顔とその子らしさを大切にしたい教育ができる先生になりたいと思い、今勉強を頑張っています。

Q: 中学生に向けてのメッセージ

勉強で大変なこともあります。それ以上に得られるものがたくさんあるのが、たか高だと思います。充実した高校生活を送りたい人は、ぜひ来てください。